

記載例

教育職員検定及び教育職員免許状授与申請書

申請年月日が記載されていること

令和〇年〇月〇〇日

北海道教育委員会 様

本籍 北海道 本籍地は「都道府県名」を記載すること
(郵便番号) 060-8544

住所 札幌市中央区北3条西7丁目

電話番号 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 氏名に「ふりがな」が付されていること
(ふりがな) ほっかい じろう

氏名、本籍が証明書等と異なる場合は、戸籍抄本が添付されていること

署名又は 記名押印 北海次郎 北海 パソコン等で書式を作成し、氏名を印字した場合は、本人の私印が押印されていること
生年月日 昭和44年6月1日

※免許状への併記を希望する場合に記載

(旧姓) 広島 免許状に旧姓又は通称名の併記を希望する場合のみ記載してください。
(通称名)

教育職員検定により次の免許状の授与（特別支援教育領域の追加）について、別紙関係書類を添えて申し出ます。
なお、この申出をするに当たり、私は、教育職員免許法第5条第1項の各号のいずれにも該当しないことを宣誓します。

1 免許状の種類 中学校教諭特別免許状

申請する学校種ごとに、申請書を別に作成すること（中学校と高等学校の両方の特別免許状を申請する場合、申請書を別々に作成すること）

2 教科等 外国語（英語）

3 既取得免許状

免許状の種類	番号	教科等	授与年月日	授与権者	備考
中学校助教諭免許状	令3中臨第〇号	外国語（英語）	令和3年4月1日	北海道教育委員会	
取得済みの教員免許状がある場合には、必ず記入すること。）					

(添付書類)

- ・学力に関する証明書
- ・実務に関する証明書
- ・人物に関する証明書
- ・身体に関する証明書
- ・履歴書

記載上の注意

- 「免許状の種類」は、法第4条第2項から第4項まで及び第4条の2第2項に定めるところにより記入すること。
- 「教科等」は、法第2条第5項の規定による特別支援教育領域、法第4条第5項各号に掲げる教科若しくは第6項各号に掲げる教科若しくは事項、法第4条の2第2項の規定による自立教科等、法第16条の3第1項の規定による教科又は法第16条の4第1項の規定による教科の領域の一部に係る事項を記入すること。
- 「(添付書類)」の部分には、添付する書類の目次を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦型とする。

記載例

人物に関する証明書

有効期間は、申請日前3ヶ月以内。
※申請日前3ヶ月以内とは、教職員課で内容等確認して受理した日前3ヶ月以内を指します。

氏名及び生年月日は、申請書と同じであること

氏名 北海次郎
昭和44年6月1日生

上記の者は、下記のとおりであることを証明する。

令和〇年〇月〇〇日

- ・道立学校の教職員：当該学校の校長
- ・市町村立学校の教職員：当該市町村立学校を所管する市町村教育委員会の教育長
- ・私立学校の教職員：学校法人の理事長

(証明者) ○〇市教育委員会教育長 (職印)
○ ○ ○ ○ 印

項目	所見
1 指導力	〇〇市立〇〇中学校において、助教諭として3年間にわたり外国語（英語）を教えてきた経験と実績を踏まえ、十分な指導力があると判断する。
2 研究心	「教えること」についての問題意識を常に持って自己研鑽に努めている。
3 社会性	物怖じせず、社会的で協調性がある。
4 性格	明朗快活であり、物腰がやわらかである。
5 長所	相手の話をよく聞き、周囲の人と円滑なコミュニケーションを取ることができる。
6 短所	特になし。
7 その他	特になし。
8 教育職員としての適格性	教育者としての心構えがあり、地域や教職員からの信頼も厚い。指導の様子からも、教育職員の適格性を十分備えている。

教育職員として「適格な人物である」旨の記載がされていること

作成上の注意

「(証明者)」の箇所には、証明者の名称を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦型とする。

記 載 例

規一様式3の2

特別免許状の申請にあたり、関連する業務の経験に係る証明書を作成、提出してください。

実務に関する証明書

氏名及び生年月日は、申請書と同じであること

氏 名 北 海 次 郎

昭和44年6月1日生

- ・市町村立学校に勤務していた場合→当該市町村教育委員会教育長の証明が必要
- ・複数の市町村に勤務していた場合→それぞれの市町村教育委員会教育長の証明が必要
- ・道立学校に勤務していた場合→当該道立学校長の証明が必要
- ・複数の道立学校に勤務していた場合→それぞれの道立学校長の証明が必要
- ・私立学校に勤務していた場合→学校法人の理事長の証明が必要

上記の者は、下記のとおりであることを証明する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(証明者) 〇〇市教育委員会教育長 (職印)

〇 〇 〇 〇 印

記

時間講師の場合は、週当たりの担任授業時間数を記載すること

1 良好な成績で勤務した期間

期 間	年 月 数	勤 務 校	職 名	担 当 教 科 等	備 考
R3. 4. 1~ R6. 3. 31	3年	〇〇町立〇〇中学校	助教諭	外国語(英語)	

中学校の免許で小学校に勤務している場合についても、担当教科名を記入すること。

2 良好な成績で勤務した年月数

合計 3年 月

- 経験年数には、次の期間は含まない(経験年数から除算される。)ため、該当する場合には、「実務に関する証明書」備考欄に記載すること。
- ・休職の期間、引き続き90日以上病気休暇等(介護休暇、産前産後休暇を含む)、育児休業の期間。
 - ・勤務が良好と認められない期間。
- 経験年数の計算方法は、「実務に関する証明書」に証明された期間により計算する。
- ・1月及び1年に満たない経験年数は30日をもって1月とし、12月をもって1年とする。

備考 「(証明者)」の箇所には、「所轄庁」「学校法人の理事長」のごとく実務証明責任者を記入すること。

記載例

身体に関する証明書

本籍、住所、氏名及び生年月日は、授与申請と同じであること。

氏名 北海次郎

昭和44年6月1日生

・有効期間は、申請日前1年以内。
※申請日前1年以内とは、教職員課で内容等確認して受理した日前1年以内を指します。

上記の者は、下記のとおりであることを証明する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

医師の証明印は、私印で証明されていること。

(医療機関名) ○○○○病院

(証明者) ○ ○ ○ ○ (印)

医療機関においてすべての項目について受診し、記載されていること。

項目	状況	
視力	右 ()	左 ()
聴力	右	左
疾病及び異常	無 ・ 有 (疾病名等)	
所見	<div data-bbox="831 1317 1406 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 検査項目で異常が見られる場合は、「所見」欄に、「日常の勤務に支障があるか否か」を証明してもらうこと。 </div>	

作成上の注意

- 「視力」欄は、矯正している場合、() 内に矯正視力のみを記入する。
- 「疾病及び異常」欄は、「無・有」のいずれか該当する方を○で囲み、「有」の場合は、呼吸器、循環器、消化器、神経系等について、疾病の病名又は異常の状況を記入する。
- 「所見」欄は、「疾病及び異常」欄が「有」の場合に、教員として勤務可能な程度を記入する。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦型とする。

記載例

(表面)

履 歴 書

本 籍 北海道
 (郵便番号) 060-8544
 住 所 札幌市中央区北3条西7丁目
 (ふりがな) ほっかい じ ろう
 氏 名 北 海 次 郎
 (昭和・平成 44年6月1日生)

学 業

S57年3月31日	札幌市立〇〇小学校卒業
S60・3・31	札幌市立〇〇中学校卒業
S63・3・31	北海道〇〇高等学校卒業
S63・4・1	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
H4・3・15	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	

資 格

R3・4・1	中学校助教諭免許状（外国語（英語））
・ ・	
・ ・	
・ ・	※所有している教員免許状があれば、記載すること。
・ ・	
・ ・	

記載例

(裏面)

職 業

H4年4月1日	〇〇株式会社
R3・4・1	〇〇市立〇〇中学校助教諭
R6・4・1	学校法人〇〇学園〇〇専門学校講師
・	現在に至る
・	
・	※行が不足する場合は履歴書の職業欄を適宜追加すること。
・	

賞 罰

・	なし
・	※該当がなければ「なし」と記載する。
・	

身上等に関する事項

年 月 日	なし
・	※該当がなければ「なし」と記載する。
・	

上記のとおり相違ありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

※記名の場合は、印鑑押印のこと

署名又は

記名押印 北 海 次 郎 北海

記載上の注意

- 「学業」の欄には、小学校の卒業以後の学歴をすべて記入すること。
- 「職業」の欄には、給与に関する事項を除いたすべての事項について記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦型とする。